



Q. 熊本県ではどのように取り組んでいるの？

A.

熊本県では、平成13年に策定した「くまもと子ども未来プラン」に基づき、多様な保育サービスの充実や、地域を巻き込んだ子育て支援体制づくりなどに取り組んでいます。さらに、妊娠、出産から産後に至るまでの母親への連続したケアにも力を入れるなど、少子化対策のさらなる充実を図っています。



なお、県では、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成16年度「くまもと子ども未来プラン」を県の行動計画として見直しを行い、さらに充実を図ることとしています。

多様な 保育サービス

子育てと仕事の両立を支援するため、次のような多様な保育サービスの充実を図っています。

◎保育所における延長保育、一時保育、休日保育などの特別保育事業

◎放課後児童クラブ(小学校低学年児童を中心とした放課後の子どもの健全な居場所づくり)や、病後児保育(病後回復期の子どもの一時預かり) など



放課後児童クラブの様子

地域における 子育て支援

行政、地域住民がパートナーシップのもとに、子育てへの不安解消・負担の軽減を図り、地域で子育てを支える仕組みづくりを進めています。

◎子育て中の親が気軽に集まれる場(地域子育て支援センター、つどいの広場など)の提供

◎地域での子育てのためのネットワークづくり、子育て支援コーディネーター・サークルリーダーなどの養成 など



つどいの広場の様子

産前・産後の 女性のケア

安心して子どもを生み育てることができるよう、妊娠中から産後における母親へのケアに取り組んでいます。

◎女性の心と妊娠にかかわる専門相談窓口の設置

県福祉総合相談所内
☎096-381-4340

◎産後の育児不安などを早期に把握し、個別に支援する事業 など



少子化に 関する啓発

「少子化の流れを変えるために」と題して、熊本県、千葉県、大阪府の3知事による「女性知事リレーフォーラムinくまもと」を8月1日に行いました。

潮谷知事は、「子育てするなら熊本県で」と言っていただけのように、少子化対策、子育て支援の充実を一層図っていききたい」とフォーラムを締めくくりました。今後も少子化に関するイベントをはじめ、さまざまな形での啓発活動を展開していきます。



お問い合わせ

熊本県子育て・介護支援推進課

☎096-383-1111 (内線7206) FAX096-381-9025

電子メール kosodate@pref.kumamoto.lg.jp

知事室から



熊本県知事 潮谷義子

いよいよ秋。澄み切った空の下で子どもたちが歓声を上げ、元氣いっぱい校庭や公園を駆け回る姿が見られます。その姿は、生命力に満ちあふれ、周りの大人たちに元気を与えてくれる魔法の力を持っています。

ところが今、子どもの数が少なくなっています。と同時に、核家族化が進み、異世代や友達との触れ合い、地域でのつながりが薄れつつあります。そして、こうしたことが次世代の担い手たちの健やかな成長にさまざまな影響を及ぼしている現実があります。

県では、少子社会に対応してきめ細かな子育て支援策を進めてきました。子育てを社会全体で支える方向などを示した新しい法律の制定を受けて、今後いっそう幅広い施策展開を行っていきたくと考えています。

子どもは未来社会からの預かりものであり、社会を映し出す合わせ鏡とも言えます。子どもたちの健やかで明るい声がいつまでも響き続けることを願い、皆さんと一緒に、社会的な縁による子育て支援を進めていきたいと、あらためて決意しています。